



## 2050年二酸化炭素実質排出量ゼロを目指す ゼロカーボンシティとさしみず

近年、世界各地では、猛暑や豪雨など地球温暖化が要因とみられる異常気象による災害が多発しており、我が国においても、巨大台風、集中豪雨等により、各地で甚大な被害が発生するなど、気候変動の影響が顕在化してきています。

こうした状況を踏まえ、政府は2020年10月に「2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

さらに、国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）では、産業革命前からの世界の気温上昇を1.5度に抑える方向性を明らかにし、続くCOP27でもこの目標達成に向け努力を続けることが継承されました。

こうした中、私たち一人一人が今まで以上に地球環境に強い危機感を持ち、地球温暖化の原因である二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量を削減し、脱炭素への取組を強化する必要があります。

土佐清水市においては、市民憲章に掲げる『愛と自然に満ちた活力あるまち』を実現し、私たちのかけがえのない故郷を未来の世代により良い姿でつないでいくために、市民・事業者・行政が一体となり、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを宣言します。

令和4年12月5日

土佐清水市長

泥谷光信